

ユニファ株式会社

保育施設向け総合ICTサービス「ルクミー」の急成長を支える柔軟なデータ連携基盤

複数システムで顧客情報を連携し、業務効率が10倍に

ユニファ株式会社は、保育・育児関連の社会課題解決に取り組んでいる“Childcare-Tech”領域のスタートアップ企業。“家族”をテーマに2013年に創業しIoTやAIを活用した保育施設向け総合ICTサービス「ルクミー※1」を開発・提供している。社内の業務プロセスおよび基幹システムを構築する事業推進部では、商談管理を効率化するため「Salesforce」を導入。しかし、顧客ごとに異なる業務プロセスが発生することが多く、一部業務は「kintone」を併用し柔軟な対応を行うことになった。さらに、契約後は顧客管理を「ルクミー」で行っているため、それら3つのシステム間において顧客情報などのシームレスなデータ連携が課題となった。そこで、ノーコードのデータ連携ツール「ASTERIA Warp Core」を導入。自社サービス拡大による業務プロセスの変化にも迅速に対応可能なデータ連携基盤を構築し、現在も事業推進部による内製開発で継続的に業務処理の改善を続けている。

※1 ICT・IoTを活用した業務負荷削減と、ドキュメンテーションによる振り返り支援の観点から、子どもともしっかり向き合う豊かな環境を整える保育施設向け総合ICTサービス

導入背景

- 商談プロセスに合わせてSalesforceとkintoneを活用しており、契約アカウントを管理する自社サービス「ルクミー」と合わせて顧客情報の3重管理が必要であった
- それぞれのシステムに手作業で顧客情報を連携すると業務効率の悪化や抜け漏れのリスクが懸念された
- 社内ITエンジニアは自社サービスの開発をメインに担当しているため、業務システムに関する開発・運用は導入当時はエンジニアのいない事業推進部の内製で対応することが求められた

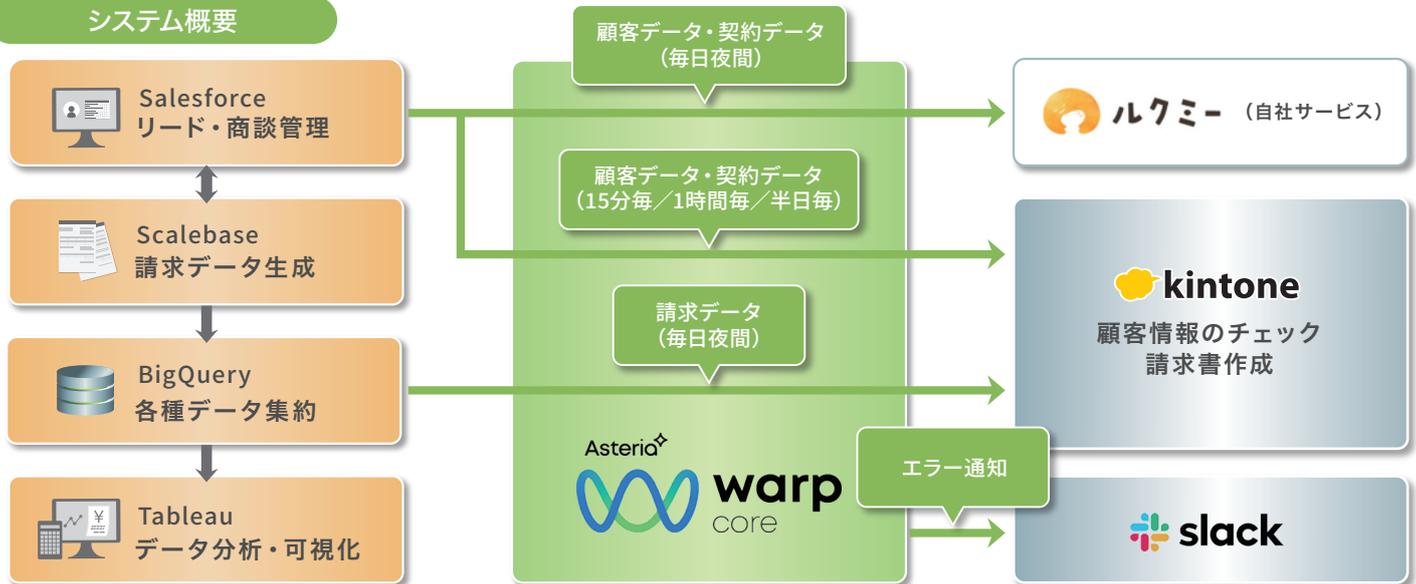
選定ポイント

- 連携先が豊富で、Salesforceやkintoneとの連携に加え自社サービスとのAPI連携も可能
- ノーコードツールのため開発難易度が低く、事業推進部でも構築・運用が容易
- 変化の多い事業フェーズに対応可能な高い開発生産性

効果

- システム間のデータ連携をシームレスに行うことで、手作業に比べて10倍の業務効率を実現。約40本の処理が稼働しており、事業推進部の業務改善に大きく貢献
- コーディングによる開発に比べ、開発工数を7割削減。難易度の高い開発でも10日以内には実装でき、自動化処理の新規開発や改善にも迅速に対応
- 柔軟性の高いデータ連携基盤を構築したことで、自社サービス拡大に伴う業務プロセスの変化や利用システム変更にもスムーズに対応可能

システム概要



ユーザーのひと言



保育施設との契約では、園や自治体ごとに決められている異なるルールに対応する柔軟性が必要です。しかし、すべてを個別対応することは非効率的です。そこで、共通業務はSalesforceで標準化、固有業務はkintoneで柔軟に対応、両者をCoreでシームレスに連携することで業務プロセス最適化を実現しました。



Coreは機能が充実しており、かゆいところに手が届くノーコードツールとして、重要な役割を果たしています。業務改善は常に行われているため、今後もCoreの活用領域は拡大していく予定です。

事業推進部 部長代理 船越 健司 様(上) / 事業推進部 システム企画課 課長代理 田辺 義明 様(下)

User Profile



所在地：東京都千代田区富士見1-8-19
住友不動産千代田富士見ビル 2F
会社概要：保育支援サービス「ルクミー」の企画開発、
保育関連テクノロジーの研究・開発など
業種：情報サービス
URL：https://unifa-e.com